

2020年（令和3年度）  
福井県教員採用試験 一般・教職の出題例

【社会科学】

（経済）

「公平・中立・簡素」を原則とした「税の三原則」の説明として誤っているものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 「公平の原則」には、経済力が同等の人に等しい負担を求める「水平的公平」がある。
- ② 「公平の原則」には、経済力のある人により大きな負担を求める「垂直的公平」がある。
- ③ 「公平の原則」のうち、近年は「年代間の公平」が重要となっている。
- ④ 「中立の原則」とは、税制が個人や企業の経済活動における選択を歪めないようにすることをいう。
- ⑤ 「簡素の原則」とは、税制の仕組みを可能な限り簡素にし、理解しやすいものにすることをいう。

【人文科学】

（倫理）

「最大多数の最大幸福」という考え方をもとに、少数の権力者が多数の市民を支配することを批判し、代議制民主主義の必要性を主張した人物として正しいものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① ベンサム
- ② パスカル
- ③ カント
- ④ サルトル
- ⑤ リースマン

2020年（令和3年度）  
福井県教員採用試験 一般・教職の出題例

【自然科学】

（生物）

ヒトの呼吸について述べた次の文のうち、正しいものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 細胞による呼吸とは、ひとつひとつの細胞で二酸化炭素を使って養分からエネルギーが取り出され酵素と水ができることである。
- ② 体には左右に1つずつ肺があり、右肺も左肺も上葉・中葉・下葉に分かれている。
- ③ 肺動脈を流れる動脈血は、酸素を多く含み、左心房に入る。
- ④ 気管支の先には直径約2mmの肺胞が多数あり、その膜と周囲の毛細血管の壁を通して、酸素と二酸化炭素の交換を行っている。
- ⑤ 肺は自律的な呼吸運動ができず、筋肉のついた肋骨や横隔膜の動きによって呼気と吸気を繰り返す。

2020年（令和3年度）  
福井県教員採用試験 一般・教職の出題例

【教育原理】

次の文は、「小学校学習指導要領解説 特別活動編（平成29年7月告示）」の第4章にある「学級経営の充実と生徒指導との関連」からの抜粋である。文の空欄にあてはまる語句を①～⑤の中から1つ選んで番号で答えなさい。

学級には多様な児童が在籍していることを前提に、学級での児童との人間的なふれあい、きめ細かい観察や面接、保護者との対話を含め、一人一人の児童を客観的かつ総合的に（ ）していくことが大切である。

- ① 啓発
- ② 理解
- ③ 指導
- ④ 受容
- ⑤ 支援

【教育心理】

次の文は、どの心理療法について説明したものか、下の①～⑥の中から1つ選び、番号で答えなさい。

(1) エクササイズをカウンセラーが提示し、クライアントがそれらを行う中で自ら気づき、解決に至ることを期待する。

(2) 日本では、エリック・バーンの基礎理論を中心とし、心の状態を示す「エゴグラム」の利用が活発である。

(3) 不適応行動や問題解決の援助にあたって、パーソナリティの変容よりも、学習によって人間の行動が変化する側面に注目する。

- ① 精神分析療法      ② 来談者中心療法      ③ ゲシュタルト療法
- ④ 箱庭療法          ⑤ 行動理論              ⑥ 交流分析

2020年（令和3年度）  
福井県教員採用試験 一般・教職の出題例

【教育法規】

次の文の空欄に入る語句の組合せとして適切なものを①～⑥の中から1つ選び、番号で答えなさい。

第2条（教育の目標）

教育は、その目的を実現するため、（ア）の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

1 幅広い知識と教養を身に付け、心理を求める態度を養い、豊かな情操と（イ）を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

2 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、（ウ）を培い、（エ）の精神を養うとともに職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

- |       |         |       |          |
|-------|---------|-------|----------|
| ①ア：学問 | イ：道徳心   | ウ：創造性 | エ：自主及び自立 |
| ②ア：学問 | イ：資質・能力 | ウ：創造性 | エ：敬愛     |
| ③ア：学問 | イ：道徳心   | ウ：社会性 | エ：敬愛     |
| ④ア：個人 | イ：資質・能力 | ウ：社会性 | エ：自主及び自立 |
| ⑤ア：個人 | イ：道徳心   | ウ：創造性 | エ：自主及び自立 |
| ⑥ア：個人 | イ：資質・能力 | ウ：社会性 | エ：敬愛     |

【ローカル】

福井県「教育に関する大綱」（令和元年10月）について、次の文の空欄ア・イに入る語句の組合せとして適切なものを、①～⑥の中から1つ選んで番号で答えなさい。

教員がすべてを教え込むのではなく、子ども自身の個性に気づかせ、それを伸ばしていくような（ア）や既存の枠にとらわれず、自由な発想の中で、子どもたちが知的好奇心や探求心を持って、学びを自ら進んで（イ）を進めることにより、新たな教育文化を創造し、本県の教育をもう一段高い次元へ進めていきます。

- |         |         |           |         |
|---------|---------|-----------|---------|
| ①ア：学校教育 | イ：楽しむ教育 | ②ア：引き出す教育 | イ：楽しむ教育 |
| ③ア：学校教育 | イ：開く教育  | ②ア：引き出す教育 | イ：開く教育  |
| ①ア：学校教育 | イ：深める教育 | ②ア：引き出す教育 | イ：深める教育 |